

伊豆諸島神津島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫

小島弘昭

〒243-0034 厚木市船子1737 東京農業大学昆虫学研究室

Weevils new to the fauna of Kôzushima Island, the Izu Islands, Japan

Hiroaki KOJIMA

Summary Following seven species of weevils (Coleoptera: Curculionoidea) are newly recorded from Kôzushima Is.: (1) *Tropideres naevulus* Faust, 1887; (2) *Sergiola praecaria* (Faust, 1889); (3) *Curculio hilgendorfi* (Harold, 1878); (4) *Orchestes dorsoplanatus* Roelofs, 1874; (5) *Mecysmoderes ater* Hustache, 1916; (6) *Abrimodes esakii* (Morimoto, 1958) and (7) *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston, 1873. Among them, the second, fourth and sixth species are recorded from the Izu Islands for the first time. As a result, a total of 45 species of weevils excluding Scolytidae and Platypodidae are recognized from Kôzushima Is.

神津島は伊豆諸島中部に位置し、面積18.48 km²と同諸島(9島)中5番目の大きさの小島である。同島のゾウムシ上科甲虫(キクイムシ科およびナガキクイムシ科を除く)はMorimoto & Miyakawa (1985)および妹尾(1985)によって報告されており、これまでに5科38種が記録されている。

著者は、2011年9月16~18日にかけて家族旅行で同島を訪問し、短時間ではあるが調査をする機会を得た。その際、分布上興味深い伊豆諸島新記録種を含む、神津島新記録種の存在を確認したので以下に報告する。

本報告により、神津島のゾウムシ上科は45種となり、伊豆諸島中5番目の種数となる。

報告に先立ち、原稿をご校閲頂いた森本 桂博士に厚く御礼申し上げる。また、調査に同行してくれた娘の直子にも御礼申し上げる。

なお、記録は全て神津島で著者が調査・確認したもので、本文中では省略する。

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae

1. キマダラヒゲナガゾウムシ *Tropideres naevulus* Faust, 1887
1 ex., 多幸浜, 18-IX-2011.
伊豆諸島では、これまで八丈島からのみ知られていた。

ホソクチゾウムシ科 Apionidae

2. ヒメケバカホソクチゾウムシ *Sergiola praecaria* (Faust, 1889)
13 exs., 黒島登山口, 17-IX-2011. 伊豆諸島新記録。

ウツギ類から得られた。

ゾウムシ科 Curculionidae

3. シイシギゾウムシ *Curculio hilgendorfi* (Harold, 1878)
6 exs., 黒島登山口, 17-IX-2011; 3 exs., 林道天上山線, 17-IX-2011; 4 exs., 秩父山, 18-IX-2011.
これまで伊豆諸島では八丈島からのみ知られていた(野津, 2010)。島内各所で果実のついたスダジイに見られ、この時期の調査が行われていなかったことが、本種の記録がこれまでなかった要因と考えられる。
4. ヒラセノミゾウムシ *Orchestes dorsoplanatus* Roelofs, 1874
1 ex., 黒島登山口, 17-IX-2011. 伊豆諸島新記録。
スダジイより得た。時期を替えれば個体数は少なくないものと思われる。
5. キボシトゲムネサルゾウムシ *Mecysmoderes ater* Hustache, 1916
20 exs., 白島口, 17-IX-2011; 1 ex., 秩父山, 18-IX-2011.
オオシマツツジから得られた。伊豆諸島ではこれまで新島から記録があるのみであった。
6. エサキヒシガタクモゾウムシ *Abrimodes esakii* (Morimoto, 1958)
2 exs., 黒根トンネル赤崎側入口付近, 16-IX-2011; 4 exs., めいし海岸, 17-18-IX-2011. 伊豆諸島新記録。



Figs. 1–2. Habitat of *Abrimodes esakii* on Kôzushima Is. — 1, Near the entrance of Kurone Tunnel (Akasaki side); 2, Meishi-kaigan (white triangular mark shows the place where the weevils were found on *Boehmeria biloba*).

これまで鹿児島以南の南西諸島、および台湾から知られていた。成虫はハドノキ、ヤナギイチゴなど木本のイラクサ科から得られているが (Kojima & Lyal, 2002), 神津島ではラセータソウから得られた。ラセータソウは島内各所に見られるが、本種は極めて局所的で海際の断崖下に生えるラセータソウの数株でしか見られず (Figs. 1, 2), 丹念に調査したが、時期的なものか個体数は極めて少なかった。

7. ワシバナヒメキクイゾウムシ *Phloeophagosoma curvirostre* Wollaston, 1873

1 ex., 秩父山, 19–IX–2011.

伊豆諸島ではこれまで三宅島, 八丈島, 青ヶ島

から記録がある。

引用文献

Kojima, H. & C. H. C. Lyal, 2002. New Oriental and Australian Conoderinae, with taxonomic notes on the tribe Othippiini (Coleoptera: Curculionidae). *Esakia*, Fukuoka, (42): 161–174.

Morimoto, K. & S. Miyakawa, 1985. Weevil fauna of the Izu Islands, Japan (Coleoptera). *Mushi*, Fukuoka, 50 (3): 19–85.

野津 裕, 2010. 東京都八丈島のシギゾウムシ. *神奈川虫報*, (172): 13–14.

妹尾俊男, 1985. ササセマルヒゲナゴゾウムシの神津島からの記録. *月刊むし*, (176): 42.

(2011年10月18日受領, 2011年11月17日受理)

【短報】東京都におけるノコヒゲフトコメツキダマシの記録

ノコヒゲフトコメツキダマシ *Otho spondyloides* (Germar, 1818) は、日本では北海道と本州から分布の知られるコメツキダマシである。

黒沢 (1963) や久松 (1985) で図示され、顕著な種であるにもかかわらず、採集記録は散発的で少なく、全国的にも珍しい種と思われる。関東地方においては、神奈川県 (平野, 2004, 2007), 栃木県 (森島, 2003), 茨城県 (公文・公文, 2009) の山地帯から記録がある。

東京都の奥多摩地域からも、以下のように採集されているので報告する。

1♂, 東京都西多摩郡奥多摩町日原川本谷, 11. VIII. 2002, 川田一之採集・鈴木 互保管; 1♀, 東京都西多摩郡奥多摩町日原一石山～人形山, 9. VII. 2011, 筆者採集・保管。

本種は、ヨーロッパからシベリアにも広く生息することが知られ、タイプ産地はイギリス南西部の Curland である。日本産の個体群については、これまで図示されてきた大陸産の個体群 (Mertlik, 2008 など) とは、雌雄ともに触角の形状などに差異が認められる。

本稿を草するにあたり、種々ご教示をくださり、データの公表を快く託された鈴木 互氏 (東京都) に心よりお礼申し上げます。



図1. ノコヒゲフトコメツキダマシ (♀: 奥多摩町産)。